

進捗状況の概要 【1ページ以内】**1. 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組**

○ 医歯学領域の単位認定プログラム

「国際医歯学研究プログラム」と「国際医療・歯科医療研修プログラム」を創設し、該当する学生には単位を付与する体制を整え、単位を認定した。

2. 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

○ 学生交流プログラムの実施

チュロンコン大学と本学の医学部間では、「国際医歯学研究プログラム」を、本学と3大学の歯学部間では、「国際医療・歯科医療研修プログラム」を実施した。また、学生、及び教職員が寝食を共にしてグループワークや文化交流を行うグローバルトリートを開催し、学術交流とともに学生の国際理解を深める活動を行った。今後は、学生交流を行う海外相手大学や対象地域を拡大し、平成26年度からは医学部保健衛生学科が本事業に参加する等、学内での本事業の拡充も進めている。

○ 国際学会会合、評価委員会等の開催

平成25年度までに国際セミナーは6回、国際シンポジウムは計3回開催した。日本と海外の大学における歯学教育、歯科研究、歯科診療、国際交流等に関する情報交換ができ、今後の国際教育カリキュラムの開発に役立てることができた。さらに、外部評価委員による本事業の評価委員会も毎年度開催し、今後のより充実した事業実施を目指した検討を行っている。

3. 交流プログラムにおける学生のモビリティ

○ 日本人学生の派遣

「国際医学研究プログラム」、「国際歯科医療研修プログラム」において医学部、歯学部生および大学院生を3大学に平成24年は19人、平成25年は57人派遣した。

○ 外国人留学生の受入れ

3大学から学部学生、大学院生を平成24年は25人、平成25年は36人受入れた。

4. 本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

○ 『5ヶ国語による基本歯科用語集』の活用

英語、日本語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語からなる5カ国語基本歯科用語集を作成し、学生の海外派遣事前研修時や、派遣・受入れプログラム実施期間中に活用し、各国の学生の歯科専門用語の共通理解を促進した。

○ プログラム参加学生対象のアンケート

プログラム参加学生を対象に、プログラムへの期待や満足度、参加前後の意識変化、研修内容の理解度、短期的成果を客観評価し、以降の研修プログラム立案に取り入れて、改善を図っている。

○ 国際交流に関する本学学生の意識調査（ベースライン調査）

本事業開始時、本学歯学部学生全員を対象に、国際交流や留学への関心、英語学習等に関するアンケート調査を行った。本調査は、本事業の推進を通じた学生の意識変化を評価するための基礎データとなる。

5. 教育内容の可視化・成果の普及

本事業の事業内容と成果に関するホームページやリーフレットを作成し、本事業の内容・成果等の情報を国内外に公表・発信した。また、交流プログラムに関する教育関連アンケート調査結果等を学会で発表し、参加者からの意見、コメントを収集することにより今後のプログラムに反映させた。

【本構想における中間評価までの交流学生数の実績】

平成24年度				平成25年度			
派遣		受入		派遣		受入	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
18名	19名	10名	25名	36名	57名	21名	36名